

## 第5回「移動市長室」(田人地区)懇談記録

### ○開催日時

平成26年9月29日(月) 午前9時～正午

### ○内容

#### 1 公共施設等視察

##### (1) 県道いわき石川線法面崩落現場(田人町石住字才鉢地内)

###### ア 時間

午前9時00分～午前9時15分

###### イ 概要

4月5日の大雨により、県道いわき石川線の田人町石住字才鉢地内の法面が崩落し、全面通行止めとなっていました。9月26日(金)午後3時から1車線片側交互通行が開始されました。福島県いわき建設事務所長から工事の手法や経過、全面開通までの今後の計画等について、説明していただきました。



##### (2) 下黒田公民館

###### ア 時間

午前9時25分～午前9時55分

###### イ 概要

勿来・田人地域包括支援センターが開催する「下黒田地域ケア会議」の参加者が、「これからも地域で暮らしていくために」をテーマに、グループに別れて意見交換をしているところを訪ね、参加者の皆さんと懇談しました。



## 2 市民グループとの対話（全4グループ）

### (1) 時間

午前10時から正午（1グループ25分程度）

### (2) 場所

田人支所 第2会議室

### (3) 市側の出席者

市長、行政経営部秘書室長、田人支所長、田人支所次長

田人支所地域振興担当員、ふるさと再生課長

### (4) 概要

田人地域振興協議会（3名）

会長 蛭田秀美、副会長 小野美代子、会員 小野文喜



#### 【参加者】

市の保存樹木である石割桜は地域資源でもあります。根本の部分にキノコが出てきてしまい、石割桜が枯れてしまうのではないかと危惧しています。樹木医に相談してキノコを除去し殺菌剤等を塗布して仮処置はしていますが、再び、小さいキノコが出てきています。南部地区に保存樹木があるということは貴重なことであると考えますので、予算の問題もあると思いますが、石割桜を枯らすことのないよう、継続的な支援をいただけないでしょうか。

#### 【参加者】

石割桜の所有者として、市から年間2千円の報償金をいただいておりますが、見物に来た一般のお客さんから拝観料などをいただいているわけではないので、収入はありません。地区の財産として何とか保存していきたいと思っておりますが、個人の力ではどうすることも出来ないというのが現状です。

#### 【参加者】

昨年の暮れ頃から石割桜の根本にコケが生えてきましたので、市の関係部署に連絡し、樹木医に診てもらったところ、木がだいぶ弱ってきており、処置するためには16万円ほど掛かるとのことでした。今後、落葉した後に市の関係部署とは、話し合いを予定していますが、石割桜は地区の財産でもあることから、処置費用の3分の2は市から助成していただけるとのことですので、残りの3分の1について負担していきたいとは思っていますが、一層の支援をいただけないでしょうか。

**【市長】**

保存樹木に対する助成については条例で定められており、基本的には樹木の所有者に維持管理をしていただいて、市は予算の範囲内で一部を助成するという形になっています。

三春町の滝桜については、滝桜の保護・保存や周辺環境の整備、来場者の受け入れ態勢の充実を目的として、協力的なものを来場者からいただいています。

**【参加者】**

収入が見込めるようなものに作り込めればと思いますが、そこまでもって行くにも投資が必要になります。

市の保存樹木として指定されていることから、相当の支援をお願いします。

また、一ノ倉に保存樹木のシダレザクラがありますが、幹の元の部分が空洞となっており、弱ってきているのではないかと危惧しております。

**【市長】**

保存樹木として指定している樹木は、現在75本あることから、石割桜だけではなく、他の樹木も含めて対応を検討していかなければなりません。

持ち帰り検討させてください。

田人地域振興協議会（3名）

会長 蛭田秀美、部会長 豊田正勝、斉藤富士代



**【参加者】**

平成23年4月11日に発生したマグニチュード7.0の大地震の震源である井戸沢断層は、研究機関や大学による調査の結果、「正断層型の地震断層」であり、非常に珍しいものです。市にとっては財産であり、将来に伝えていかなければならないと思っています。従って、井戸沢断層を市の指定文化財として指定していただき、将来的には国の天然記念物として指定を受けたいと考えています。

時間の経過につれて風化してしまうので、速やかな指定に向けた対応をお願いします。

**【参加者】**

今後、断層の保存方法などについて、専門家などから意見をいただき、地域資源として活用していきたいと思っています。

**【参加者】**

塩ノ平エリアにある断層のすぐ近くに住んでいますが、一人でも多くの方に見に来ていただきたいので、出来ることは協力していきたくと思います。空いた土地もありますので利用していただいて構いません。風化して断層が分からなくなってしまうことが怖いのです。

**【市長】**

断層は何箇所ぐらい残っていますか。

**【支所長】**

分かりやすいところで3箇所ありますが、塩ノ平断層が一番分かりやすいと思います。

**【市長】**

断層が風化しないようにしなければならないと思います。あまり手を加えてもいけませんし、放置したままという訳にもいきません。

**【参加者】**

指定文化財に指定されると安易に手を加えることが出来ないのですが、その前に保存すべき形にしなければなりません、どうしていくべきか考えています。

**【市長】**

淡路島の震災記念公園では、断層を保存するため屋根がかけられています。

**【参加者】**

田人中学校の敷地にも断層が走っていますので、断層部分を上手く切り取り、中学校内で断層を分かりやすく見せるために展示することも出来るのではないかと思います。また、半地下構造にして見せているところもあります。

**【市長】**

塩ノ平断層には、現在も見学者は訪れていますか。

**【参加者】**

以前は大勢の方が見学に来て、私の家にも話を聞きにいらっしゃっていましたが、今は断層を見学してすぐ帰られる方がほとんどです。

**【参加者】**

話は変わりますが、地域振興や交通安全対策にも繋がることから、国道289号線の一部の舗装路面に細工を施し、車で走行したときに車両走行音が音楽を奏するようメロディーロードを設置出来ないものかと思っています。事例も多く、田人ならではの特色を出したいと考えています。

**【市長】**

地域からそういった声を出していただければ、関係機関に働きかけたいと思います。

田人町商工会（5名）

会長 小沢重好、会員 兎澤崇博、兎澤雅美、兎澤恵、小林恒心



**【参加者】**

田人町荷路夫に工場を建設し、商工会にも加入していただいた、田人町商工会の新メンバーをご紹介します。

**【参加者】**

千葉県船橋市でステンレス製品の加工業をしていましたが、田人町に工場を建て、今年の7月10日から操業を開始しました。

転入のきっかけですが、母が勿来出身で、小さい頃などは近くの海に行ったりしていました。船橋市の工場で、ものづくりを行ってきましたが、いずれは水、空気のきれいなところでと考えていました。東日本大震災の発生後、いわき市はどうなっているんだろうと思っていた時に、夕刊に田人地区の記事が掲載されていたこと目にして、2年前の平成24年6月4日に田人地区の様子を見に来ました。それから地区の方々とコミュニケーションを図りながら工場用地や住まい探しをして、転居するまでに2年掛かりました。地区の方々には、工場開きの際にも色々とおアドバイスをいただき、感謝しています。最終的には人の繋がりだと思います。

なお、長女と次女には船橋市の営業所を任せており、三女と四女は一緒に田人の工場で働いています。

**【支所長】**

インターネットを活用することで、事業はどこでも行えるという良い事例であると思います。

**【市長】**

（三女・四女に対して）父親からいわき市に行くと言われたときに、どのように思いましたか。

**【参加者】**

船橋市とは全然環境が違いますので、行ってみたいと思いました。しかし、実際住んでみて不便を感じることもあり、車の免許を取得しました。また、自然が豊かなので自転車を始めました。

**【参加者】**

船橋市に限らず都会では、心の病を患う労働者が大変多く、私は自然の中に帰っていくのがいいと思っています。そこで、この自然豊かで素晴らしい田人

地区をもっと全国に宣伝してみたいはかがでしょうか。それともう一つ提案ですが、私たちが田人に移転した際の資金は全て自己負担です。企業進出に係る優遇制度は色々ありますが、私たちのような従業員が少ない企業は該当しないことから、例えば市内に進出してくる小さな企業に対して、50万円程度のもので補助金があれば、大変助かりますし、歓迎してくれているという感じがするので、非常にうれしいと思います。

**【市長】**

田人地区に来ていただき、ありがとうございます。

いろいろな意見を出していただいて参考になりました。また、刺激にもなります。

(三女・四女に対して) 出来ることなら、こちらで所帯を持っていただければと思います。

市では、出産を奨励祝福するとともに、出産にかかる経済的な負担を軽減し、少しでも明るい気持ちになっていただきたいという思いから、今年4月より、出産支援金支給事業も開始しています。

今年11月には、小名浜港アクアマリンパークにおいて、「第1回ツール・ド・いわき2014」を開催しますので、是非、参加していただければと思います。また、いわき市には60kmの海岸線がありますが、魅力ある海岸線ルートサイクリングロードが出来ないか考えています。いわき市で充実した生活を送っていただけると嬉しいです。

**入旅人牧野利用農業協同組合（3名）**

緑川純一、緑川栄光、緑川廣



**【参加者】**

当組合は、田人カントリークラブのゴルフ場経営者に30年に渡り土地を貸してきましたが、震災の影響もあってゴルフ場が閉鎖し、これからその土地をどうしようかと考えている中で、太陽光発電事業の話が持ち上がりました。当該地は約88ヘクタールありますが、そのうち49ヘクタール、これは18ホール全てのコース面積になりますが、そこにソーラーパネルを設置し、25メガワットの発電を計画しています。事業者は、京セラの系列である京セラTCLソーラー合同会社です。

工事には約2年の期間を要し、平成29年末までには稼働させ、発電した電気は国道289号線沿いに送電線を設置し、約10km離れた東北電力の施設に送る計画です。

**【市長】**

すごい計画ですね。

事業者との契約は、土地の賃貸借契約だけですか。

**【参加者】**

はい。期間は稼働してから20年とする予定としています。しかし、東北電力から発電設備の接続を拒否されることが心配です。

**【市長】**

発電した電力を東北電力が確実に受け入れてくれることが必要ですから、国などに対しては、私からも機会をつくってお願いしたいと思います。

これだけ規模が大きいと、ソーラーパネルのメンテナンスや草刈りなどの維持管理も大変ですね。

**【参加者】**

ソーラーパネルは雪が積もりにくいようにするために、通常よりも角度を付けて設置するようです。また、私たちが維持管理を請負って、地元の人を雇用できればよいと思っています。

**【市長】**

雇用も生まれますので、田人地区にとって非常にいいお話だと思います。

一度、京セラから直接、状況を説明していただきたいと思うのですが。

**【参加者】**

京セラの方にお話ししてみます。

林務課や都市計画課などに対しては、既に話をしていますが、今後、細部の詰めでいろいろご相談させていただくことになると思いますので、よろしくお願ひします。

また、事業者から工事期間中の作業員の宿舎などとして、旧田人二小の校舎を借りることは出来ないかという相談があります。私たちとしては、地域の活性化や過疎化対策に繋がることなので、できる限り協力していきたいと考えています。旧田人二小を活用することは出来ないでしょうか。

**【市長】**

地域の声が一番大事ですので、前向きに検討させていただきます。

いずれにしても、改修が必要になると思いますが、個人的には、宿舎として事業者へ改修していただき、事業が終了した後は、別の目的で有効活用できればと考えています。